

# 2025年度 日本学生支援機構奨学金 大学院第一種奨学金 「特に優れた業績による返還免除」の申請について

申請を希望する方は、以下熟読のうえお申込みください。

申請期間	<b>2026年1月27日（火）～2月13日（金）【期限厳守・土日祝日除く】</b> <b>* 8時30分～11時30分 13時30分～17時（最終日は15時まで）</b> <b>* 2月6日（金）14時～/9日（月）は入試等で窓口閉鎖のため、受付不可</b>
------	--

## 概要

日本学生支援機構では、大学院第一種奨学金の貸与を受けた方で、2025年度中に貸与が終了する奨学生を対象とした「特に優れた業績による返還免除制度」を実施しています。在学中（当該課程）に「特に優れた業績を挙げた者」として本学から推薦し、同機構が認定した場合、当該大学院課程の在学中に貸与された第一種奨学金の全部又は一部の返還が免除されるものです。

## 申請資格

- ① 大学院第一種奨学生で、2025年度に貸与が終了する者（2026年3月貸与満期終了者のほか、2025年度退学・辞退等を含む）。
- ② 貸与終了時の「在学している課程で特に優れた業績を挙げた者」（課程修了を必須要件としません。）

- 2023年度以降に第一種奨学金に採用された者で、申請課程において以下の支援を受けている/受けた場合は **対象外** です。
  - ・科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業
  - ・次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)
  - ・国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業(BOOST)
  - ・次世代 AI 人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）
  - ・高等大学院国際卓越研究者育成支援プログラム（AGS RISE Program）
- 返還免除内定者も申請が必要となりますので、必ず申請してください。

## 提出書類 ・ 提出手順

### 1 以下提出書類を準備し、窓口提出する（郵送提出者は期日必着）

	提出書類	注意事項
<input type="checkbox"/> 1	出願封筒貼付用紙	<div>A4片面印刷</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェック項目にチェックし、太枠内必要事項を記入</li> <li>・受付時に配付する封筒にその場で貼付けていただきます</li> <li>・郵送の場合は封筒に貼らずに業績と同封してください</li> </ul>
<input type="checkbox"/> 2	業績優秀者返還免除申請書(様式 1)	<div>A4両面印刷</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・枠に入りきらない場合や、業績が多くて入りきらない場合は、必要に応じて行を挿入し、文字は小さくしないこと</li> </ul>
<input type="checkbox"/> 3	業績を証明する資料リスト	<div>A4片面印刷</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業績に関する詳細は、3ページ以降を参照すること</li> <li>・資料1種類につき1行ずつ、資料のタイトルを記入</li> </ul>

□ 4	業績を証明する資料(指定の表紙付)	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">A4 両面印刷</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の種類ごとに、それぞれ指定の表紙を付ける</li> <li>・論文全ページではなく、<b>該当箇所のみ</b>提出してください</li> <li>・<b>本人の氏名、題目部分、年月日、学会名等、何の業績であるか、また本人を確認できるよう、該当箇所にマーカーで印をつけてください</b></li> <li>・<b>業績の年月日（特に年）が不明な場合は、表紙やプログラム等、日付を確認できる箇所を添付してください</b></li> </ul>
□ 5	認定結果通知用封筒（切手不要）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長 3 サイズの封筒に、2026 年 4 月以降確実に送付できる住所、氏名を記入</li> </ul>

- \* 日本学術振興会特別研究員採用、短縮修了その他の理由による奨学金辞退予定者は、申し出てください。  
**2026年2月12日（木）までに「辞退の異動願」**を提出いただきます。（学生支援係にて配布します。）
- \* 博士後期学生（DC）申請者は、研究に関するプレゼンテーションを行なっていただく予定です。  
（3月頃、オンライン）詳細は、別途申請者にご連絡いたします。
- \* 2～4 の書類それぞれの資料の題目部分や学会名は、必ず一致するようにしてください。

## 2

## Google フォームにてデータ提出する（申請書:Excel/その他:PDF）

提出期限	<b>2026年2月13日（金）【期限厳守】</b>
Google フォーム URL	<a href="https://forms.gle/XsQrxh5nNXu9YabX7">https://forms.gle/XsQrxh5nNXu9YabX7</a>



- \* **窓口受付完了後**、上記 2～4 の書類を Google フォームにてデータにて提出してください。  
（提出方法・形式等詳細は、Google フォームにて確認すること）
- \* 窓口提出後に書類の返却はしないため、必ず PDF 等で本人控えをとっておくこと。

### 留意事項

- **不備や記入漏れの申請書類は一切受理しませんので、ご注意ください。** 提出書類は原則パソコン入力で作成してください。手書きが必要な場合は、黒ボールペンを使用し、消せるボールペンの使用不可。
- **対象は、奨学金貸与期間中、かつ現在在籍している課程での専攻分野に関連した学内外における業績です。**  
（一部例外となる専攻あり。各系・専攻事務室から別途指示がある場合は、その指示に従うこと）
- **書類提出のみでは、申請受付は完了していません。** 必ず 手順①→受付完了→② の順で提出すること。
- 「よくある質問集」もあわせてご確認ください。
- 決定者には、2026 年 7 月下旬頃に、日本学生支援機構から直接本人に通知される予定です。
- リレー講座の加入手続きが済んでいない方は、返還免除申請期限までに必ず提出してください。  
（3月末辞退者・退学者等、まだ加入手続き案内がきていない方は除く）

### 提出先・問い合わせ先

工学部・工学研究科教務課学生支援係（工学部中央棟 3 階 ②窓口）  
 〒 980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-04 / TEL : 022-795-5822  
 E-MAIL : eng-kose@grp.tohoku.ac.jp

## 《重要》 「業績を証明する資料」の提出について

評価する業績は以下のとおりです。 本学奨学金返還免除選考基準 第3（1）～（11）より

<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院における教育研究活動等に関する業績項目</li> <li>・選考に関連した学外における教育研究活動等に関する業績項目</li> </ul>	
<b>第3（1） 学位論文その他の研究論文</b>	
イ	修士学位論文(含：留学先での学位論文)
ロ	博士学位論文(含：留学先での学位論文)
ハ	学内研究年報等など、レフリー制のある学内研究誌に掲載された論文及び学会誌、学術誌への掲載又は発表
ニ	学会賞、学術賞の受賞及び総長賞など学内賞の受賞
ホ	日本学術振興会及び民間財団が公募している競争的資金の獲得
ヘ	その他各研究科等で認める業績
<b>第3（2） 大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条に定める特定の課題についての研究の成果</b>	
イ	修士論文に代わる特定の課題についての研究の成果
<b>第3（3） 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果</b>	
イ	博士課程論文研究基礎力審査の結果
<b>第3（4） 著書・データベース・その他の著作物（第1号及び第2号に掲げるものを除く）</b>	
イ	刊行されたデータベース・著書・その他著作物
<b>第3（5） 発明</b>	
イ	学内発明委員会等の議を経て特許出願に至ったなど、発明、発見等による顕著な業績
<b>第3（6） 授業科目の成績</b>	
イ	授業科目の成績
ロ	修業年限短縮
<b>第3（7） 研究又は教育に係る補助業務の実績</b>	
イ	リサーチ・アシスタント等による研究活動への貢献
ロ	ティーチング・アシスタントによる教育活動への貢献
ハ	科学研究費補助金等による研究活動への貢献
ニ	学内外での非常勤講師等、教育活動への従事
<b>第3（8） 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績</b>	
<b>第3（9） スポーツの競技会における成績</b>	
<b>第3（10） ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績</b>	
<b>第3（11） その他各研究科で認める業績</b>	

### 業績の資料番号の付け方

#### 業績の種類

- \* 上述「第3（1）」の下線部「1」
- \* 申請書の左端に記載の数字

#### 業績の番号

- \* 業績の種類のなかで、複数業績がある場合は、1から順番に番号をふる。

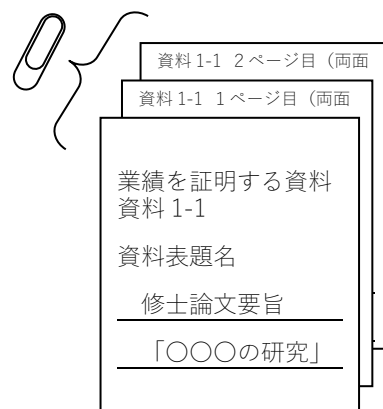
例：学位論文→資料番号 **1-1** / 研究論文→資料番号 **1-2** / TA→ 資料番号 **7**  
 （1つの業績の種類で、業績が1つの場合、「7-1」ではなく、「7」のみ）

## 資料作成のイメージ

資料番号ごとに左上をゼムクリップでまとめ、  
業績の種類ごとに左上をダブルクリップでまとめる。

例：学位論文 → 資料番号 1-1  
研究論文 → 資料番号 1-2  
TA → 資料番号 7

業績の種類が同じ  
1-1、1-2をダブルクリップでまとめる



## 必要項目詳細および注意事項

- 「必要項目」の内容が全て含まれるように資料をご準備ください。
- 「限度ページ」の表記は、片面での枚数です。（例：4 の場合→A4 両面裏表 2 枚）  
必要項目が収まらず、限度枚数を超過する場合は、ご相談ください。  
トリミングやご自身での編集によるページの集約は認められません。
- 所属専攻の指示により追加資料を求められている場合は、専攻の指示に従ってください。  
（電気系三専攻、応用物理学専攻、化学系三専攻 は別途指示が出る予定）

業績の例	必要項目	書類の例	限度 ページ
<b>業績の種類：1.学位論文その他研究論文</b>			
学位論文	① 申請者名(姓のみは不可) ② 論文タイトル ③ 論文内容の概要	論文表紙および論文要旨 (Abstract) ● 該当箇所のみ、全文は不要	4
研究論文	① 申請者名(姓のみは不可) ② 論文タイトル ③ 発表年月(日はなくても可) ④ 論文内容の概要 (書き出しの部分や要約) <査読付きの場合のみ必要> ⑤ 学術雑誌等名、発行年月 (日はなくても可)	論文の最初のページ、及び学術 雑誌の表紙・目次 ● 論文内容の概要が複数ペー ジに渡る場合には、1 ページ 目のみ提出 ● 必要項目が記載されていない 場合、メール文写し等でも可 (査読中で発表日が決まってい ない場合、査読中である旨が 分かるメール文等を添付)	4
学会での発表	① 申請者名(姓のみは不可) ② 題目 ③ 会議名(学会名) ④ 主催者名 ⑤ 発表年月(日はなくても可) ⑥ 表彰・受賞等(ある場合)	発表・論文要旨等及び学会のプ ログラムの表紙とタイムテーブル、 又は学会 HP 等の写し ● 口頭発表等で発表・論文要 旨がない場合は、発表資料や ポスター等を提出	4
論文及び学会での発表によ り受賞または表彰による機 構以外の給付奨学金の獲得 や外部資金の獲得	① 申請者名(姓のみは不可) 受賞、表彰内容及び日付 ② 奨学金や外部資金の獲得 情報(奨学金や外部 資金獲得の場合のみ)	賞状の写し(本人名、年月日が 確認できるもの)、受賞を通知す るメール等の写し	4
日本学術振興会の特別研 究員に採用(内定)、または 民間財団等が公募している 競争的資金を獲得すること	① 申請者名(姓のみは不可) ② 対象年月(日はなくても可) ③ 特別研究員採用(内 定)または競争的資金獲得	特別研究員採用(内定)通知 書 ● 民間奨学金は対象外	4

	業績の例	必要項目	書類の例	限度 ページ
	により奨学金を辞退	得情報		
<b>業績の種類：4. 著書、データベースその他の著作物（第一号、及び第二号に掲げるものを除く。）</b>				
		① 申請者名(姓のみは不可) ② 著書、データベース等タイトル ③ 著書、データベースの概要・発行年月(日はなくても可)	著書の表紙と奥付及び申請者が執筆した本文のページ、データ集及びデータ集が掲載されているサイトの画面	3
<b>業績の種類：5. 発明</b>				
	特許	① 申請者名(姓のみは不可) ② 特許に関する項目	特許登録済、特許出願中、実用新案登録済及び実用新案出願中の区分がわかるもの。 ● 出願番号、出願日、特許番号、実用新案番号、登録日等の記載があるもの ● 団体での出願の場合は申請者名が確認できるもの	3
<b>業績の種類：6. 授業科目の成績 → 教務課学生支援係で「成績証明書」を準備するため提出不要</b>				
<b>業績の種類：7. 研究又は教育に係る補助業務の実績</b>				
	TA、RA 等	① 申請者名(姓のみは不可) ② 業務内容及び実績 ③ 対象年月(日はなくても可)	労働条件通知書又は勤務証明書等の写し（本人名、勤務期間等が確認できるもの） ● 労働条件通知書等を紛失した場合は、所属の専攻事務室に発行依頼をすること ● 同じ職種(TA 等)を複数回行った場合や、複数科目のTA 等を行った場合は、労働条件通知書等を <b>いずれか1部</b> 提出 ● <u>都市・建築学専攻</u> 、 <u>土木工学専攻</u> 、 <u>技術社会システム専攻</u> の学生は、同じ職種（TA 等）を複数回行った場合、一つの業績として申請するが、複数のTA 等を行ったことが分かるように全ての労働条件通知書等の写しを提出すること	3
<b>業績の種類：8. 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績</b>				
<b>業績の種類：9. スポーツの競技会における成績</b>				
<b>業績の種類：10. ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績</b>				
		① 申請者名(姓のみは不可) ② 発表会名・競技会名 ③ 対象年月(日はなくても可) ④ 成績や実績、活動内容	● <b>専攻分野に関連していること</b> ● 申請者が参加したことの確認が取れない資料(写真や新聞記事など)は不備となるため、申請者本人が参加したことが分かる資料(参加者名簿など)を提出	3